



農業系だより

2017.10.30発行(利根実業高校農業系だより) No.7(第090号)
群馬県学校農業クラブ連盟事務局校

第68回日本学校農業クラブ連盟 全国大会岡山大会 利根実業高校生3名が



農業鑑定競技で優秀賞受賞!!

10月24日(火)~26日(木)、岡山県を会場に日本学校農業クラブ連盟全国大会が開かれ、本校から、農業鑑定競技に高山七星さん(2A1・月夜野中出身)【農業】、涌井弥々さん(3A2・白沢中出身)【林業】、鈴木和幸さん(2A2・沼田中出身)【林業】、稲垣綾乃さん(2A1・昭和中出身)【生活】の4名が出場しました。農業クラブ全国大会は、別名「農業高校生の甲子園」とも呼ばれ、日頃の学習成果を競技をとおして競い合うものです(【 】は出場分野です)。

結果は、高山さん、涌井さん、稲垣さんの3名が優秀賞に入賞しました。稲垣さんは、『全国大会という大きな大会に出場できる喜びと、是非入賞したい、という気持ちで、過去問や実施基準のキーワードを中心に毎日猛勉強をしました。優秀賞に入賞でき、大変嬉しく思います。来年は、最優秀賞を目指し、日頃の学習を大切にしていきたいと思います。今回、入賞できたのは、指導して下さった先生方、多くの友人のおかげです。』と語ってくれました。

惜しくも入賞を逃した鈴木さんは、『今回は、協力していただいた皆さんの期待に添えず、入賞を逃してしまいました。基本に立ち返り、日頃の学校生活や学習方法を省み、自分の弱さを改善すると共に、全力で学習に取り組み、来年の成果に必ず反映させたいと思います。』とリベンジを誓ってくれました。

また、クラブ員代表者会議には、我妻園華さん(2A2・月夜野中出身)が出席し、全国の代表者と、農業・農村を活性化するには農業高校生としてどのようなことができるかなど、各学校での事例を発表しました。議論や発表を通じ、出席した全国各地の高校生と親睦を深めました。



日本学校農業クラブ連盟常任理事として、理事会・代議員会に出席した和田将哉さん(3A2・川場中)は、書記として、議事録をまとめ、決議された要点を49地区代表者の前で報告しました。和田さんは群馬県連旗手も務めました。

岡山大会では、代議員会にて、日本学校農業クラブ連盟成人代表・小堀紀昭先生(瑞穂園芸高校長)が挨拶にて、本校の加藤琉也さん(2A2・昭和中)が9月に宮城県でおこなわれた全国和牛共進会での最優秀賞受賞を例に、農業高校生が多くの方で活躍していることを伝え、各クラブ員に向けエールを送りました。

引率された新井弘道先生は、『利根実業高校生は、高いポテンシャルを備えています。特に、日頃の座学や実習に熱心に取り組んでいる点、研究活動や放課後の活動で弛みない努力を継続させている点、周囲からの助言や指示を素直に聞き入れ、的確に遂行している点、の3つが好成績に繋がっています。今後も努力を継続すれば、さらに好成績が得られることでしょう。』と評価しました。利根実業高校生の今後の農業クラブ各種競技での活躍が楽しみです。

来年の第69回全国大会は、鹿児島県を会場におこなわれます。農業鑑定に留まらず、プロジェクト発表、意見発表、測量にも出場できるよう、一人ひとりが切磋琢磨し、日頃の学習に取り組みましょう。鹿児島大会では、家畜審査競技(和牛)も公開競技としておこなわれます。活躍の場が期待されます。

是非、大会への出場や入賞を目指し、クラブ員全員が一丸となって各分野で頑張っていくことが、利根実業高校のさらなる飛躍や地域からの信頼に繋がり、新たな利根実レガシーを創っていくことでしょう。

